

エピペンについて

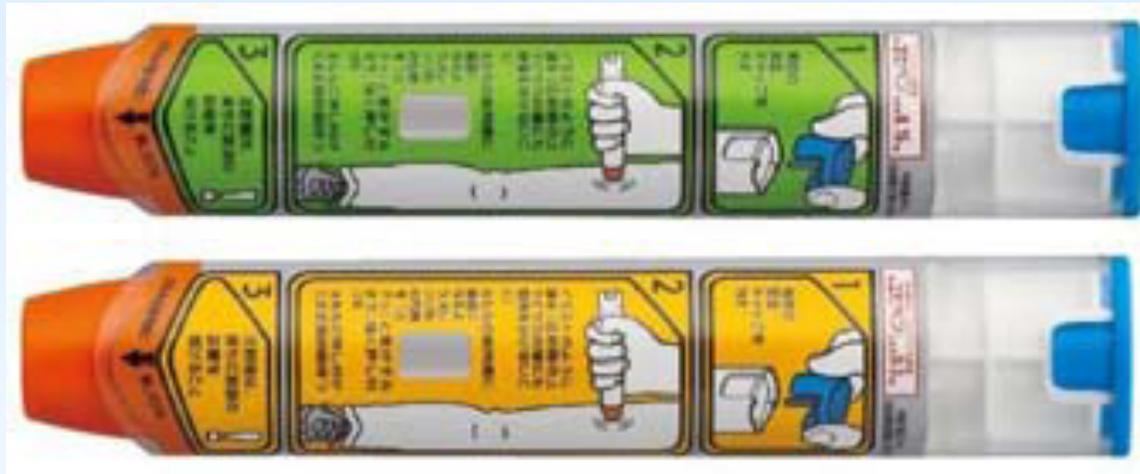
2012 4月更新

滋賀県立小児保健医療センター
アレルギー外来

エピペンとは

- ハチ毒、食物及び薬物等によるアナフィラキシーの症状を緩和するために自己注射する補助治療剤
- アナフィラキシー発現時の治療に用いられるアドレナリン(エピネフリン)の薬液と注射針が内蔵されている

エピペンとは



0.15mg
(体重15~30kgが目安)

0.3mg
(体重30kg以上が目安)

オレンジ色の先端を太ももの前外側に強く押し付けるだけで、バネの力により一定量(約0.15mg/0.3mg)の薬液が筋肉内に注射されるしくみになっている。自分で量を計る必要はない。

どんな人が持つのか

- 過去に食物により重篤なアナフィラキシー反応を起こしたことがある
- 医師により重篤なアナフィラキシー反応が起きる可能性が高いと判断された
- アナフィラキシー症状が起きても直ちに医療機関で治療を受けられない状況下にいる

どんなときに使うか

- 皮膚、粘膜症状が拡大傾向にあるとき
- 皮膚、粘膜症状以外に咳嗽、声が出にくい、呼吸困難、喘鳴などの症状が出現したとき



ショック症状が発現する前に速やかに使用することが重要

Grade	皮膚	消化器	呼吸器	循環器	神経
1	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度の小さな紅斑 ・膨疹(3個以内) ・湿疹部の掻痒 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度の悪心 ・口腔、咽頭の違和感・掻痒 	—	—	—
2	<ul style="list-style-type: none"> ・局所性の紅斑 ・膨疹(3-10個) ・湿疹の軽度悪化 ・掻破回数増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・1-2回の嘔吐または下痢 ・一過性の腹痛 	<ul style="list-style-type: none"> ・くしゃみ ・鼻汁、鼻閉 ・鼻や眼を断続的に掻く ・咳(10回未満) 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・やや元気がない
3	<ul style="list-style-type: none"> ・全身性の紅斑と膨疹 ・著明な掻痒 ・血管性浮腫 	<ul style="list-style-type: none"> ・3回以上の嘔吐または下痢 ・持続する腹痛 	<ul style="list-style-type: none"> ・咳(10回以上) ・喘鳴 ・嘔声、犬吠様咳嗽 ・嚥下困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻脈(15回/分以上の増加) ・顔色不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動レベルの低下または不機嫌
4	上記症状	<ul style="list-style-type: none"> ・頻回の嘔吐下痢 	上記のいずれかに加え <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸困難 ・喘鳴の減弱 ・チアノーゼ 	<ul style="list-style-type: none"> ・不整脈 ・軽度の血圧低下 ・四肢冷感 ・発汗 	<ul style="list-style-type: none"> ・めまい ・不穏、錯乱
5	上記症状	上記症状	上記のいずれかに加えて <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度徐脈 ・重度の血圧低下 ・心停止 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識消失

エピペンの効果

エピペンの中に入っているアドレナリンは、もともと人の副腎から分泌されるホルモン

- 効果

- ★気管支を広げ、呼吸状態を改善

- ★心臓の機能を増強し、血圧を上昇させショック状態を改善

エピペンの副作用

- 副作用

- ★ 効果の裏返し

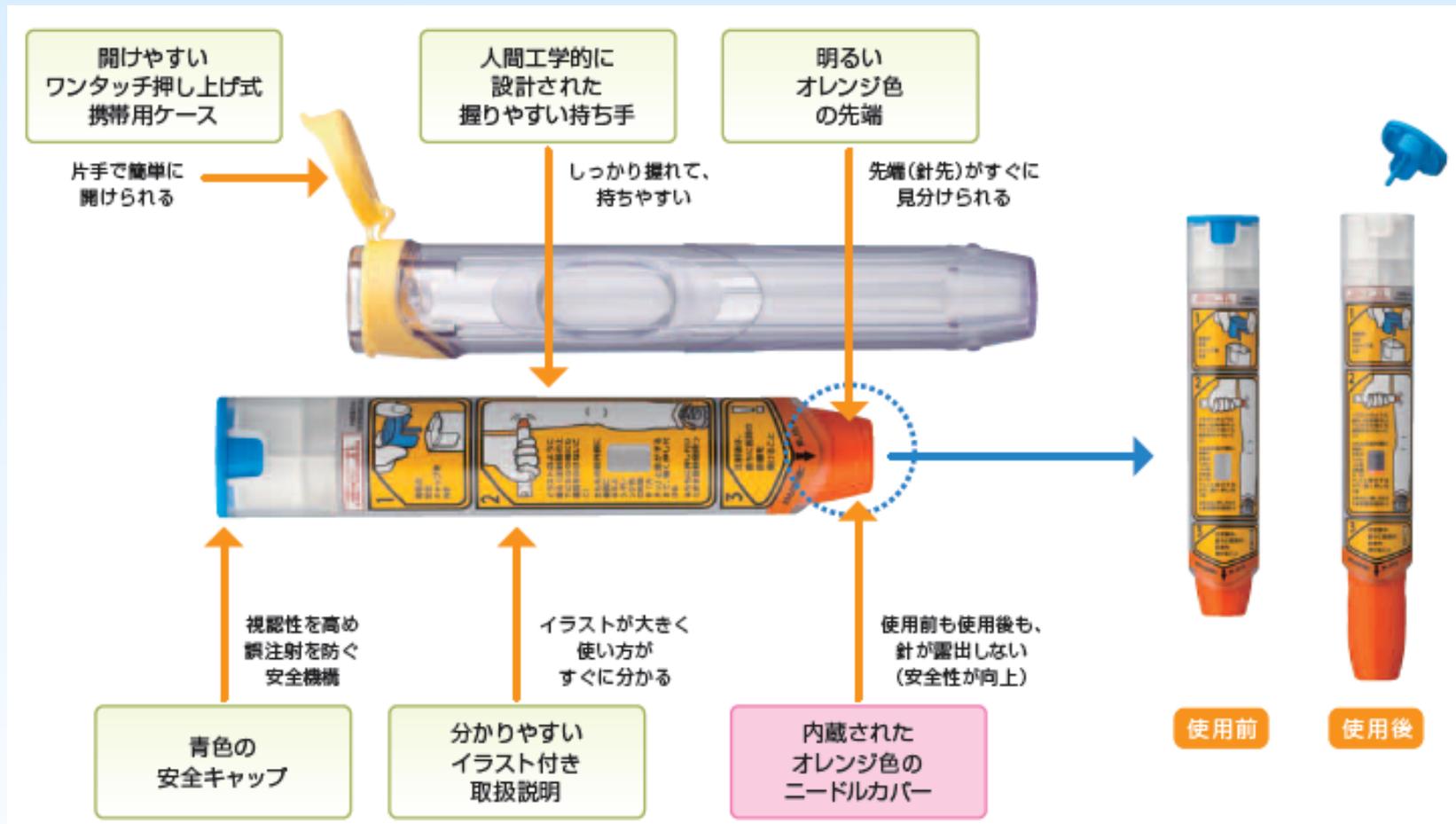
- 血圧上昇や心拍数増加に伴う症状
(動悸、頭痛、振せん、高血圧)

動脈硬化や高血圧が進行している高齢者などでは脳血管障害や心筋梗塞などの副作用も起こりえるが、一般的な小児では副作用は軽微で、問題になることはまれ

エピペンを使用した場合はその後速やかに医療機関を受診すること

- エピペン使用後、一時的によくなっても数時間後に症状が再燃することがある(二相性反応)。
- 使用したエピペンは医療機関で回収するので必ず持参すること。

どんなものか



どのように使うのか

ステップ1 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で押し開け、エピペンを取り出します。オレンジ色のニードルカバーを下に向けて、エピペンのまん中を片手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップをはずし、ロックを解除します。



ステップ2 注射

エピペンを太ももの前外側に垂直になるよう、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたまま数秒間待ちます。エピペンを太ももから抜き取ります。



保存と携帯についての注意

- 光により分解しやすいので、携帯用ケースに収められた状態で保存、携帯する
- 冷所（冷蔵庫の中）、日光の当たる高温下（夏場の車のダッシュボードの中）を避け、15°C～30°Cで保存する
- アナフィラキシー発現時に備えて、すぐに取り出せる場所に保存する
- 有効期限が切れたら再度処方を受ける

保育所・幼稚園や学校での 取り扱い

- エピペンの注射は法的には「医行為」
- 医師でない者（本人と家族以外の者である第三者）が「医行為」を**反復継続する意図をもって行えば**医師法（昭和23年法律第201号）第17条に違反することになる

幼稚園や学校での取り扱い

- しかし・・・
アナフィラキシーの進行は一般的に急速であり、エピペンが手元にありながら症状によっては児童、生徒が自己注射できない場合も考えられる

幼稚園や学校での取り扱い

- ☆ 実際にはアナフィラキシーの救命の現場に居合わせた教職員が、エピペンを自ら注射できない状況にある児童生徒に代わって注射することは、**反復継続する意図がないもの**と認められるため、医師法違反にならない
- ☆ また、医師法以外の刑事・民事の責任についても、人命救助の観点からやむをえず行った行為であると認められる場合に関係法令の規定によりその責任が問われないものと考えられる

幼稚園や学校での取り扱い

以下をよく話し合ってあらかじめ決めておく

① アナフィラキシー発現時の対応方法

(役割分担や手順)

② エピペンの保管場所

(他の児が誤って使用しないように、かつ、すぐとりだせる場所に)

③ エピペンを誰が打つのか

(打ち方やタイミングを事前に関係者が知っておく)

救急救命士による代行注射

- 救急車を呼んで救命救急士に代行注射してもらうことも可能となった。
- ただし、あくまで自分のエピペンを持っていて誰も使える人がいない場合に（救急車にエピペンが常備されているわけではない）。
- 実際の対応には地域による温度差があるので、管轄の消防署に確認しておくことが望ましい。